

名古屋を「こんなまちに住んでみたい、こんなまちに行ってみみたい」と思えるまちにするために

名古屋市次期総合計画にご意見・ご提案をお願いします。

以下の様式をご利用のうえ、郵便・FAX・電子メールのいずれかの方法により
下記までお送りいただくか、直接持参ください。

募集期限 平成26年2月7日(金)まで

提出先 名古屋市総務局企画部企画課

郵便 〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

FAX 052-972-4418

電子メール sougoukeikaku-iken@somu.city.nagoya.lg.jp

ご意見・ご提案

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

お名前	性別 男・女	年齢 歳代
ご住所		

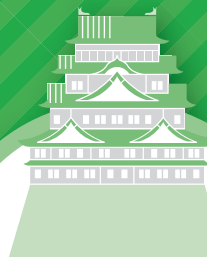
- 市ウェブサイトから同様の様式がダウンロードできます。
- お寄せいただいたご意見・ご提案に対する個別の回答はいたしません。
- お寄せいただいた個人情報は、本業務以外での利用は一切行いません。

みなさまの
ご意見を
お待ちしております！



◎編集・発行(お問い合わせ先) 名古屋市総務局企画部企画課 TEL:052-972-2205 FAX:052-972-4418

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



ナゴヤのまちを 考えてみよう

世界のナゴヤ 本物ナゴヤ めくとい市民

エビザベス



だなも

名古屋市次期総合計画の 中間案をまとめました

名古屋市では、新たな総合計画の
策定作業をすすめています。
今後、市民のみなさまの声を
おききしながら策定していきますので、
ご意見・ご提案をお寄せ下さい。



はち丸

かなえっち

名古屋市次期総合計画中間案は、名古屋市公式ウェブサイトでご覧いただけます。
11月5日(火)より各区役所の情報コーナーや
市民情報センター(市役所西庁舎1階)などでもご覧いただけます。

市ウェブサイト 次期総合計画 検索

日本でオリンピックが
開催されるよ
名古屋にもたくさんの人に
来て欲しいね



平成32年
(2020年)

東京オリンピック・
パラリンピック
開催

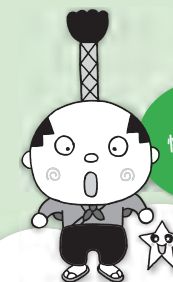
高齢者が
多くなってきたね。
元気な高齢者が
増えるといいね



平成37年
(2025年)

団塊の世代が
後期高齢者に

大きな地震が
怖いね、僕の家は
大丈夫かな



南海トラフの
巨大地震の発生確率は、
30年以内に60～70%

平成29年頃
(2017年)

名古屋市の
人口が減少に

生まれる
子どもの数が
減っているよ



平成39年
(2027年)

リニア
中央新幹線
開業

東京まで
40分で行けるよう
になるんだね



将来を見据えて

総合計画を作っていくよ

名古屋市では今後、人口の減少や、リニア中央新幹線の開業など、時代の大きな転換点を迎えます。また、高齢者の増加や、南海トラフ巨大地震への対応など、大きな課題に直面しています。こうした情勢のもと、長期的な展望をもって市政を運営していくため総合計画を策定します。

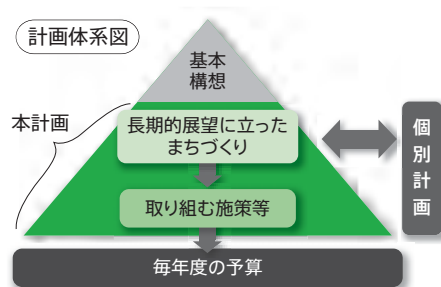
次頁から名古屋市次期総合計画中間案の概要をお示します



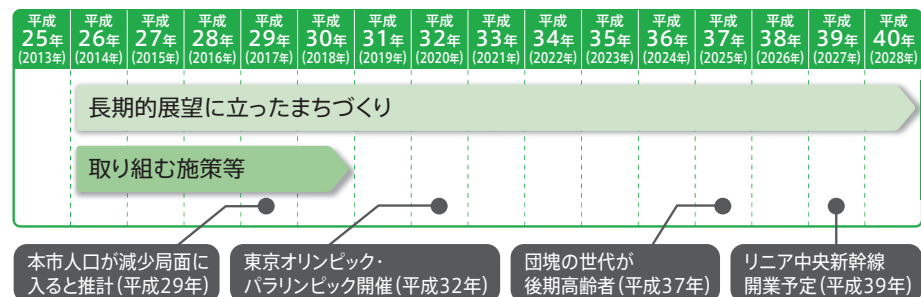
次期総合計画について

計画の位置づけ

- 名古屋市長基本構想のもと、多様化・複雑化する市政の課題に的確に対応し、市民ニーズに応じていくため、長期的展望に立ったまちづくりを明確化するものです。
- 本計画をふまえ、毎年度の予算を編成します。
- 本計画の期間は、平成26(2014)年度から平成30(2018)年度までの5年間で、



計画期間



計画の構成

名古屋を取り巻く状況 P4~5

人口と世帯数の見通し

本市を取り巻く潮流

重点課題

長期的展望に立ったまちづくり P6~13

まちづくりの方針 P6

重点戦略 P6

めざす4つの都市像 P7~10

市政運営の取り組み P11

名古屋大都市圏の発展と将来の都市構造 P12~13

名古屋を取り巻く状況

人口と世帯数の見通し

常住人口

- 平成24年10月1日現在、226万6,851人
- 死亡数が出生数を上回る自然減の局面を迎えると予測
- 他地域から本市への社会移動は、比較的低い水準で転入超過が続くと想定
- 平成29年頃には減少に転じると推計

世帯数

- 平成24年10月1日現在、102万3,428世帯、1世帯当たり人員は、2.21人
- 高齢単身世帯が大幅に増加すると予測され、1世帯当たり人員は今後も減少傾向が続くと推計

昼間人口

- 平成22年10月1日現在、256万9,376人
- 国全体の人口減少傾向もあり、平成32年頃までには減少に転じると推計

本市を取り巻く潮流

少子化・高齢化

- 出生数の減少などによる人口減少
- 高齢者人口の大幅な増加
- 生産年齢人口の減少

災害に対する不安の高まり

- 南海トラフ巨大地震への不安
- 豪雨災害への不安

リニア中央新幹線の開業

- 東京ー名古屋間が40分
- 首都圏とつながりが深まる期待感
- ストロー現象の懸念

価値観・ライフスタイルの多様化

- 高齢単身世帯の増加
- コミュニティ機能の低下
- 人と人とのつながりの希薄化

グローバル化の進展

- 人・物・資金・情報の移動の拡大
- 企業の海外進出や多国籍化
- 国境を越えた都市間競争

環境問題の多様化

- 環境の持続可能性への懸念
- 都市化の進展による環境への影響
- 省エネルギーや再生可能エネルギーの重要性の高まり

公共施設の老朽化

- 高度経済成長期に建設された多くの公共施設が一斉に老朽化

行政課題の広域化・多様化

- 広域で取り組むべき行政課題が顕在化
- 地方分権の進展による自治体の役割の拡大
- 新たな担い手が公的役割を果たす機会の増加

重点課題

☑ 人口減少社会における人口構造の変化への対応

- 生産年齢人口の減少による経済活力の低下
- 医療・福祉サービスの需要の増加による支え手の負担増
- 支援を必要とする人を地域・社会で支える必要性の高まり



☑ 南海トラフ巨大地震への対応

- 多方面で長期的な人的・物的・経済的被害
- 交通インフラへの被害が日本全域に影響
- 津波や液状化の発生



☑ リニア中央新幹線の開業等への対応

- 首都圏へのスロー現象の懸念
- 国際的な競争力の強化
- リニア中央新幹線開業や東京オリンピック・パラリンピックを活かした圏域の発展



© Central Japan Railway Company. All rights reserved.

特に大きな影響が
あると考えられる
課題です。



長期的展望に立ったまちづくり

まちづくりの方針

今後、15年先に目を向けると、人口減少社会の到来や、リニア中央新幹線の開業といった大きな転換期を迎えるとともに、南海トラフ巨大地震の発生が懸念されています。

そこで、これまで培ってきた名古屋の強みを活かし、名古屋だからこそできる、未来につながる持続可能なまちづくりをすすめています。

将来を支える世代が健やかに育まれ、災害にも立ち向かえる力を備え、さらに発展を続けていく力のある「歴史に残る街・ナゴヤ」をつくっていきます。



名古屋の強み

鉄道・高速道路・
空港・港の広域交流
ネットワークの中心

世界レベルの
産業技術の集積による
強い経済力

空間的・時間的な
ゆとりがある便利で
快適な住みやすいまち

市民と行政が
一丸となって
課題に対応する力

まちづくりの方針

名古屋だからこそできる
未来につながる
持続可能なまちづくり

歴史に残る街・ナゴヤ

- 将来を支える世代が健やかに育まれる
- 災害にも立ち向かえる力を備える
- さらに発展を続けていく力がある

重点戦略

☑ 子育て世代に選ばれるまちをつくとともに、地域の活力を高めます

- 若い世代や子育て世代の住まいの地として選ばれるまちづくりを最優先にすすめます
- 元気な高齢者を増やし、地域における助け合いの仕組みづくりをすすめる、地域の活力を高めます

☑ 市民・企業・行政の総力で大規模災害へ備えます

- 災害による被害を出さないようするための防災と、被害を最小限に抑えるための減災をすすめます
- 「自助」「共助」「公助」により、防災力を総合的に高めます

☑ 国際的な都市間競争を勝ち抜く、大きく強い名古屋をつくります

- 首都圏のバックアップ機能など新たな役割を担えるような大きく強い都市をめざします
- 広域的な取り組みを積極的に展開するとともに、集積する産業や商業などの強みを強化します

めざす4つの都市像

1 人権が尊重され、誰もがいきいきと過ごせるまち



取り巻く状況

- 出生数の減少などによる人口減少
- 高齢者人口の大幅な増加
- 価値観・ライフスタイルの多様化
- 人と人とのつながりの希薄化

めざす姿

人権と絆が
大切にされるまち

高齢者や障害者など
誰もが不安なく
自立して過ごせるまち

一人ひとりが
いきいきと自分らしく
生活できるまち

人権・生きがい

福祉・自立支援

子育て支援

子どもの育ちや学び

生涯学習・
スポーツ振興

就労支援

高齢者の活躍

若者の活動支援

実現に向けた施策

- 生涯にわたる心身両面の健康づくりを支援します
- 適切な医療を受けられる体制を整えます
- 地域で必要な医療や介護を安心して受けられるよう支援します
- 高齢者が生きがいを持って暮らせるよう支援します
- 障害者が自立し安心して暮らせるよう支援します
- 地域住民が互いに助けあい、安心して暮らせる福祉のまちづくりをすすめます
- 安心して子どもを生み育てられる環境をつくれます
- 子どもの健やかな育ちと若者の自立を支える環境をつくれます
- 虐待やいじめ、不登校から子どもを守ります
- 子どもの個性を大切に、確かな学力と豊かな心、健やかな身体を育みます
- 誰もが意欲を持って働けるよう、就労支援をすすめます
- 生涯にわたる学びやスポーツを通じた生きがいづくりを支援します
- 人権が尊重され差別や偏見がない社会をつくれます
- 男女平等参画を総合的にすすめます

2 災害に強く安全に暮らせるまち



取り巻く状況

- 南海トラフ巨大地震への不安
- 豪雨災害への不安
- 火災・犯罪・交通事故などへの不安
- 安全な市民生活への要望

めざす姿

地震や豪雨など
災害に強いまち

犯罪や事故が
起こりにくいまち

地域が一体になって
安全確保に
取り組むまち

過去の教訓を
生かした備え

自助・共助・公助による
地域防災力向上

火災予防・犯罪・
交通事故防止

減 災

復旧・復興

水・食の安全

消防力の向上

実現に向けた施策

- 災害に強いまちづくりをすすめます
- 防災・減災対策をすすめるとともに、地域防災力の向上を支援します
- 災害時に市民の安全を守る体制の強化をすすめます
- 犯罪や交通事故のない地域づくりにつとめます
- 衛生的な環境の確保につとめます
- 安全でおいしい水を安定供給します
- 消費生活の安定・向上と、食の安全・安心を確保します

3 快適な都市環境と自然が調和するまち



取り巻く状況

- 大都市としてふさわしい環境づくりが必要
- 環境の持続可能性への懸念
- 都市化の進展による環境への影響
- 都市化による緑の減少傾向

めざす姿

快適な都市環境
の中で気持ちよく
暮らせるまち

自然が身近に
感じられる
うおいのあるまち

都市と自然が調和する
心やすらぐまち

都市基盤の充実

緑地の保全・創出

都市機能の適切な配置・連携

低炭素・循環型社会

水辺空間の整備

衛生的な環境の確保

実現に向けた施策

- 22 大気や水質などが良好に保たれた快適な生活環境を確保します
- 23 身近な自然や農にふれあう環境をつくります
- 24 公共交通を中心とした歩いて暮らせるまちづくりをすすめます
- 25 良好な都市基盤が整った生活しやすい市街地を形成します
- 26 歩行者や自転車にとって安全で快適な道路環境を確保します
- 27 バリアフリーのまちづくりをすすめます
- 28 良質な住まいづくりをすすめます
- 29 市民・事業者の環境に配慮した活動を促します
- 30 低炭素社会づくりをすすめます
- 31 3Rを通じた循環型社会づくりをすすめます

4 魅力と活力にあふれるまち



取り巻く状況

- リニア中央新幹線の開業
- 企業の海外進出や多国籍化
- 国境を越えた都市間競争
- 空間的・時間的にゆとりがあり住みやすい

めざす姿

魅力と活力にあふれ、
住みたくなるまち

魅力と活力にあふれ、
行きたくなるまち

市民が誇りに
思えるまち

都市魅力向上

若者の支援

商業振興

都市魅力の発信

国際交流

産業振興

実現に向けた施策

- 32 世界の主要都市としてふさわしい都心機能・交流機能を高めます
- 33 国際的に開かれたまちづくりをすすめます
- 34 若い世代が学び、遊び、働けるまちをつくります
- 35 歴史・文化に根ざした魅力を大切にします
- 36 港・臨海域の魅力向上をはかります
- 37 魅力的な都市景観の形成をすすめます
- 38 観光・コンベンションの振興と情報発信により交流を促します
- 39 地域の産業を育成・支援します
- 40 次世代産業を育成・支援します

市政運営の取り組み

市民主体の市政運営

市民目線に立った行政

サービスの受け手である市民の目線に立って、さまざまな市民ニーズに公平かつ的確に対応していきます。

多様な主体と行政の連携

地域づくりへ市民の参加をさらに促進するとともに、地域団体やNPOなどが、自主的・自立的に活動できるよう支援し、地域主体のまちづくりをすすめます。

地域に密着した行政

市民に信頼される地域の総合行政機関をめざし、区役所が自主性・主体性を発揮し、特色や独自性を活かして地域の課題に取り組んでいきます。

将来を見据えた市政運営

持続可能な行財政運営

最少の経費で最大の効果をあげるべく不断の行政改革に取り組むとともに、将来世代に過度な負担を残さないよう計画的で持続可能な行財政運営に取り組みます。

アセットマネジメントの推進

公共施設の長寿命化や施設の集約化、保有資産の有効活用をすすめることで、経費の抑制・平準化と必要な機能の確保をはかります。

広域的な視点に立った行政

広域的な視点から行政課題を考える必要性が高まる中で、他自治体との連携を推進し、広域的な行政課題に取り組めます。

大都市制度改革の推進

都市の能力と役割に見合う権限と財源を兼ね備えた、この圏域にふさわしい大都市制度の創設をめざします。

実現に向けた施策

- | | |
|------------------------|---------------------------------|
| 41 市民サービスの向上をすすめます | 44 簡素で効率的・効果的な行財政運営を行います |
| 42 市民への情報発信・情報公開をすすめます | 45 公共施設の適切な維持管理、保有資産の有効活用をすすめます |
| 43 地域主体のまちづくりをすすめます | |

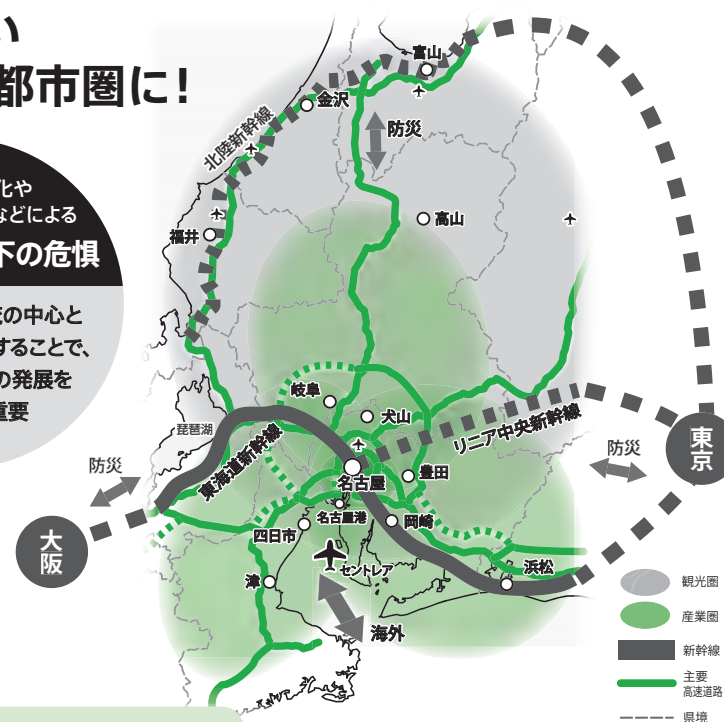
名古屋大都市圏の発展と将来の都市構造

圏域全体の発展を見据えた広域行政の推進

大きく強い 名古屋大都市圏に！

少子化・高齢化や
都市間競争の激化などによる
都市の活力低下の危機

大都市が広域交流の中心と
なり、圏域をけん引することで、
広域経済圏全体の発展を
促すことが重要



名古屋大都市圏の発展の方向性

産業	交流	防災
新たな産業の創出など 産業の裾野の拡大・発展 ●航空宇宙産業など次世代産業の強化 ●ものづくり産業の技術を活用	広域観光やMICE※などの推進 による人的交流・物流の活性化 ●陸・海・空の広域交通ネットワークの強化 ●リニア中央新幹線の開業効果を最大限に活用	広域防災機能の強化など 防災体制づくり ●多様な輸送手段と複数ルートを確認 ●近隣自治体との連携強化
ポテンシャル ものづくり産業の一大集積地 食品産業や伝統産業も集積	ポテンシャル 広域交通網が発達 さらにリニア中央新幹線が開業予定	リスク 南海トラフ巨大地震など 広域的な大災害の懸念

※MICE(マイス):企業会議(Meeting)、研修旅行(Incentive)、国際会議(Convention)、見本市・イベント(Exhibition/Event)をさします。

圏域の中心都市 としての役割

- 自治体間の連携をすすめる中で、一層のリーダーシップを発揮し、圏域の発展をけん引
- 近隣市町村との相互連携を一層強化、共通する広域的な行政課題への率先した取り組み

